

太陽と緑の環境都市、石井町



FEEL! ISHII TOWN TOUR 石井町で徳島を感じる旅



吉野川の恵みに育まれた、実り豊かなコンパクトな町

豊かな自然環境と温暖な気候に恵まれ、自然と田園風景を残しながらも、隣接する徳島市のベッドタウンとして開発が行われ発展を続けるまち、石井町。地形は東西約6km、南北約5.5kmのほぼ方形で、非常にコンパクトな町です。吉野川の恵みに育まれた、実り豊かな平地と標高200m前後のなだらかな山地や丘陵地が

らなり、新鮮でみずみずしい野菜の供給基地となっています。町内常設の農産物直売所では、町内外からの多くの買い物客で賑わい、公共施設、商業施設、医療・福祉機関、金融機関など、生活に必要な施設がコンパクトにまとまって、近隣市町村にもアクセスしやすく、都市機能も充実しています。

PICKUP CONTENTS コンテンツの魅力

SUSTAINABLE



“清く、とうとうと” 潤いの清流、吉野川

水清らかにとうとうと(淀みなくどんどんと)流れる一級河川・吉野川。石井町はその潤いに恵まれ、豊かな土壌のもとに栄えてきたまちです。自然、歴史、人々の暮らしの一つひとつが悠々と流れ、時を刻んでいます。「吉野川第十堰」は、江戸時代に農業用水を確保するために造られた上水道の水源地となっています。また、石井町藍畑にある「高瀬橋」は数多く架かる潜水橋の一つ。これらは住民の日常に溶け込んだ大切な吉野川の風景です。

SUSTAINABLE



サステナブルハーベスト ～食をきっかけとして地域を知ろう～

石井町の老舗「岡萬本舗」が令和4年に新店舗「DAIJU PARK」をオープン。自社農園でサトウキビを栽培し、阿波和三盆糖などのこだわりの材料を使ったお菓子を作り続けています。新店舗では、サトウキビやトモロコシの収穫体験を通じて参加者と一緒に料理し、生産者への感謝や食、地域への理解を深める場となっています。参加者は商品製造の過程を学びつつ、地元生産者との結びつきを学ぶことができます。

COLOR TRINITY



彩りの競演、藤と桜とイチヨウの三重奏

藤は石井町の花に指定され、200年以上前から人々に愛されてきました。見頃となる4月下旬には、町内各所がその花言葉どおり“やさしさ”や“歓迎”の彩りに染まります。秋深まり、金色に映えるイチヨウの木。古くから神木として崇められる天満神社のイチヨウや、県下で5番目に太い幹周を誇る矢神のイチヨウがあります。いつの時代も、誰のもとにも等しく、その姿を見せてくれる桜。町内には満開の桜を楽しめるスポットが多くあり、やわらかな色と香りは、見る人の心を美しく染めていきます。

HISTORY & CULTURE



阿波のまほろば、地域の歴史と文化

吉野川流域は、日本一の藍染料の産地で、職人たちが藍の染料づくりと染織文化を守り続けています。石井町を含む県内9市町は、令和元年に阿波藍のストーリー「藍のふるさと阿波 ～日本中を染め上げた至高の青を訪ねて～」が日本遺産に認定。藍師・藍商の豪荘である「藍屋敷」の代表例として、田中家住宅や武知家住宅が存在します。また、石井町は阿波国の中心地であり、阿波国分尼寺をはじめとする歴史遺産が多く残されています。

AGRICULTURE



郷土を拓くチカラ、石井町の農業

豊かな自然と比較的温暖な気候に恵まれ、昔ながらの田園風景を残す石井町。古くから農業が盛んで、野菜菜や小松菜、ブロッコリー、ほうれん草など、新鮮な野菜の供給基地となっています。近年では、様々な農業系企業の進出があり、町を挙げて既存農業の振興とともに次世代型農業を応援しています。採れたて野菜の販売促進に一役買っているのが町内に4か所ある常設の農産物直売所。町内外から多くの人が訪れ、賑わっています。

LOCAL SPECIALTIES



あじわい豊かに、石井町の特産品

吉野川の流域の肥沃な土壌と豊富な水、作り手の情熱がご当地の自慢の逸品を生み出しています。杉蔭蔵つくりで仕込んだ「味噌」や、吉野川の伏流水で仕込んだ「甘酒」は昔ながらの伝統製法で製造されています。「阿波たくあん」は、町を代表する地場産品の一つで、大正時代から地域に親しまれています。

